

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【公表番号】特表 2019-509128 (P2019-509128A)

【公表日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-013

【出願番号】特願 2018-549195 (P2018-549195)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/06 A

A 6 1 M 16/00 3 0 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 6 日 (2020.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 ストラップおよび第 2 ストラップを接続し、前記ストラップの各々がテキスタイルケーシング内に単体プラスチックコアを備える、ストラップコネクタアセンブリであって、

前記第 1 ストラップの端部に配置された第 1 コネクタ部と、

前記第 2 ストラップの端部の間に配置された第 2 コネクタ部であって、前記第 2 ストラップの前記テキスタイルケーシングを通して突出する前記単体プラスチックコアの突起を備え、前記第 1 ストラップおよび前記第 2 ストラップの接続を容易にするように前記第 1 コネクタ部と整列するように構成されている第 2 コネクタ部と、を備えるストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 2】

前記第 1 コネクタ部の厚さが、前記第 2 コネクタ部の厚さに等しい、請求項 1 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 3】

前記第 1 コネクタ部および前記第 2 コネクタ部が、前記第 1 ストラップおよび前記第 2 ストラップの接続を容易にするように位置合せされているとき、それらの間に配置された隙間を有するように構成されている、請求項 1 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 4】

前記第 1 コネクタ部および前記第 2 コネクタ部が、前記第 1 ストラップおよび前記第 2 ストラップの接続を容易にするように位置合せされているとき、それらの間に配置された隙間を有するように構成されている、請求項 2 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 5】

前記第 1 コネクタ部に配置された位置合せ凹部であって、成形金型の内面に配置された突起と係合して、前記成形金型に対して前記第 1 コネクタ部の位置を維持するように構成されている位置合せ凹部をさらに備える、請求項 1 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 6】

前記第 1 コネクタ部に配置された位置合せ凹部であって、成形金型の内面に配置された突起と係合して、前記成形金型に対して前記第 1 コネクタ部の位置を維持するように構成されている位置合せ凹部をさらに備える、請求項 2 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 7】

前記第 1 コネクタ部に配置された位置合せ凹部であって、成形金型の内面に配置された突起と係合して、前記成形金型に対して前記第 1 コネクタ部の位置を維持するように構成されている位置合せ凹部をさらに備える、請求項 3 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 8】

前記第 1 コネクタ部および前記第 2 コネクタ部の上にオーバーモールドされるオーバーモールド継手をさらに備える、請求項 1 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 9】

前記第 1 コネクタ部および前記第 2 コネクタ部の上にオーバーモールドされるオーバーモールド継手をさらに備える、請求項 2 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 10】

前記第 1 コネクタ部および前記第 2 コネクタ部の上にオーバーモールドされるオーバーモールド継手をさらに備える、請求項 3 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 11】

前記第 1 コネクタ部および前記第 2 コネクタ部の上にオーバーモールドされるオーバーモールド継手をさらに備える、請求項 4 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 12】

前記オーバーモールド継手の厚さが、前記第 1 コネクタ部の厚さおよび前記第 2 コネクタ部の厚さに等しい、請求項 8 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 13】

前記オーバーモールド継手の厚さが、前記第 1 コネクタ部の厚さおよび前記第 2 コネクタ部の厚さに等しい、請求項 9 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 14】

前記オーバーモールド継手の厚さが、前記第 1 コネクタ部の厚さおよび前記第 2 コネクタ部の厚さに等しい、請求項 10 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 15】

前記オーバーモールド継手の厚さが、前記第 1 コネクタ部の厚さおよび前記第 2 コネクタ部の厚さに等しい、請求項 11 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 16】

前記オーバーモールド継手が、前記第 1 ストラップおよび前記第 2 ストラップの前記テキスタイルケーシングと接触する、請求項 8 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 17】

前記オーバーモールド継手が、前記第 1 ストラップおよび前記第 2 ストラップの前記テキスタイルケーシングと接触する、請求項 9 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 18】

前記オーバーモールド継手が、前記第 1 ストラップおよび前記第 2 ストラップの前記テキスタイルケーシングと接触する、請求項 10 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 19】

前記オーバーモールド継手が、前記第 1 ストラップおよび前記第 2 ストラップの前記テキスタイルケーシングと接触する、請求項 11 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 20】

前記第 1 コネクタ部および前記第 2 コネクタ部が、互いに相互嵌合するような形状である、請求項 1 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 21】

前記第 1 コネクタ部が、前記テキスタイルケーシングを越える前記単体プラスチックコ

アの延長部を備える、請求項 1 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 2 2】

前記第 1 コネクタ部が、前記テキスタイルケーシングの端部を越えて延在する、請求項 2 1 に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 2 3】

前記第 1 コネクタ部および前記第 2 コネクタ部が、それぞれオスコネクタ部およびメスコネクタ部である、請求項 1 ~ 2 2 のいずれか一項に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 2 4】

前記第 1 コネクタ部および / または前記第 2 コネクタ部の各々がタブを備える、請求項 1 ~ 2 2 のいずれか一項に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 2 5】

前記第 1 コネクタ部および / または前記第 2 コネクタ部が、それぞれの第 1 ストラップおよび第 2 ストラップの前記単体プラスチックコアの幅に等しい幅を有する、請求項 1 ~ 2 2 のいずれか一項に記載のストラップコネクタアセンブリ。

【請求項 2 6】

前記第 1 コネクタ部および / または前記第 2 コネクタ部が、それぞれの第 1 ストラップおよび第 2 ストラップの前記単体プラスチックコアの幅に等しい幅を有する、請求項 2 4 に記載のストラップコネクタアセンブリ。